

第二部：ワールドカフェ（対話・交流）

第一部が予定よりも延長してしまったため、時間を短縮して第二部のワールドカフェを行いました。

今回は「市民協働のまちづくり」をテーマに、27名の皆さんが参加。各テーブルに市民の会委員と来場した市民が同席し、模造紙を使って、短い時間ながらも熱心に対話と交流を重ねました。

参加者の声（来場者アンケートより）

- 市民の会からの報告は、皆さん頑張っていることが伝わってきました。換気のためか、冷房のように冷えていて、参加しているのが苦痛でした。（60代・女性）
- 報告…「5分程度で」という条件で発表するなら、それは厳守すべきだったと思う。基調講演…「議論し尽くしていないから意見がまとまらない」というコメントが新鮮に感じた。（30代・男性）
- 市民参加のルールづくりの方法が少し理解できました。（70代・女性）
- 時間が長かった。長くかかりすぎ。計画どおりにいかなかった。（60代・女性）
- 一部に早口で聞きとれないところがあった。（80歳以上・男性）
- 市民の会からの説明で何が要点かつかめず、説明が長すぎる（60代・女性）
- 若者の意見を聞く機会がもっと必要（60代・男性）
- いろいろ気づきがあった。人の視点が違っていて面白い（50代・女性）
- ワールドカフェの時間が足りなかったのもっとお話したかったです。（60代・女性）
- どうやって無関心な人たちを話し合いの場に引っ張ってくるかということ。小さな一歩の積み重ねしかない。（60代・女性）
- 住民の意識が高まらない理由、若者が参加しない理由、地域の絆を強める方策は？茂原に活力がないのはなぜ？住民の多様化する要望にどう対応するのか。（80代・男性）
- 住民にまとまりがなく、多忙で、まちづくりへの関心がないことが残念です。（80代・男性）



ご意見をお寄せください！

茂原市の「自治基本条例」を考えるためには、市民の皆さんがどのようなまちのあり方を望んでいるか、その考えを取り込みながら、今後のまちづくりのためにはどのような基本原則を盛り込むべきなのかを考えていくことが必要です。ぜひ、皆さんのご意見をお寄せください。

茂原市自治基本条例を考える市民の会
事務局 茂原市役所企画政策課



ケータイからもお寄せいただけます

FAX 0475-20-1603
E-mail kikaku@city.mobara.chiba.jp